

# 平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード	820100	TEL	2998-9238
事業コード	健やか輝き支援事業	担当部課	学校教育課		
820108		グループ	健やか輝き支援室		
開始年度	平成14年度	→	終了年度	年度	

②事業の概要	事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令	
	分野別計画・指針	所沢市いじめ防止基本方針			いじめ防止対策推進法、所沢市いじめ問題対策委員会条例、所沢市健やか輝き支援員設置要綱	
	関連・類似事業	安全・安心な学校と地域づくり推進事業				
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	学校教育	基本方針
事業開始の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非行問題行動を起こす児童生徒の多くの家庭が、家庭教育の徹底を図ることが難しい状況にある。</li> <li>・怠学で欠席し、深夜徘徊等で事件を起こしたり巻き込まれたりしている。</li> <li>・非行問題行動が粗暴化傾向にあり、学校だけでは対応が厳しい。</li> <li>・学校教育における不登校やいじめ等、児童生徒の心の問題の重要性が叫ばれている中で、学校職員と違う立場や視点で児童生徒、保護者との相談等に応じる者を学校現場に配置する必要性が求められ、所沢市独自の事業として心のふれあい相談員の配置を開始した。</li> </ul>					

③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	いじめ、非行問題行動、怠学・非行による不登校、犯罪被害など反社会的行動により起こりうる課題に対し、児童生徒、保護者、学校を支援し、児童生徒の健全育成を図る。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	49,998 <sup>1</sup> 人
	市内小・中学校の児童生徒とその保護者(各年5月1日現在の児童生徒数及びその保護者数)			平成 27 年度	49,832 <sup>1</sup> 人
事業の具体的な内容及び実施方法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ、非行問題傾向、怠学による不登校、引きこもり、発達障害など、個々の児童生徒・家庭に応じた指導・援助を行う。</li> <li>・早稲田大学・東京学芸大学と連携し、大学院生を健やか相談員・メンタルフレンドとして各小・中学校に派遣して、児童生徒の心理面を把握し、支援の一助とする。</li> <li>・淑徳大学と連携し、大学生を中学校に派遣して、相談室登校生徒の教室復帰の支援をする。</li> <li>・暴力行為等問題行動に対して、サポートチームを編成して、管理職を含め教職員を支援し、学校・学級への対応にあたる。</li> <li>・非行防止、薬物乱用防止、防犯対策等の教室を各小・中学校の児童生徒、保護者の実態に合わせ、非行問題行動や犯罪被害の未然防止を図る。</li> <li>・警察、児童相談所、こども支援課、防犯対策室など関係諸機関と連携を図り、学校・家庭への支援を行う。</li> <li>・心のふれあい相談員を市内小・中学校に32人を配置し、担任・教育相談担当教員等と連携して相談活動、家庭訪問等を行う。</li> </ul>					

④経費	＜会計種別＞		一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)	
	当初予算				49,292	48,714	49,709	
	決算(見込み含む)				45,648	45,056		
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)		( 3.00 人)	( 31.00 人)	( 3.00 人)	( 人)	※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
	正規職員人件費		1.80 人	15,698	1.85 人	16,021		
	事業費合計				61,346	61,077		
	財源内訳							
一般財源				50,904	38,592	39,407		
国・県支出金				10,442	10,122	10,302		
その他( )				0	0	0		

⑤実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
	活動実績	児童生徒・保護者等からの相談件数	件	541	527	600	650
		心のふれあい相談員への相談率	%	34	37	45	50

⑥成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
	成果指標	いじめの解消率	%	目標値 100	100	100	100
				実績 92	96	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る	
目標達成状況			どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率 92	96	↑どちらかをチェックしてください

⑦改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	いじめ防止対策推進法に定める、いじめ対策を効果的に行っていく教育委員会の附属機関として、「所沢市いじめ問題対策委員会」を条例設置し、いじめの防止対策・重大事態に係る事実関係の調査等の機能を持つ機関として位置づけた。委員には学識経験者・医師・弁護士・人権擁護委員・PTA代表などを委嘱し、委員会においていじめの未然防止や、いじめが起こった場合の対応について協議を行った。	いじめの解消率が100%に満たないものについては、年度末にいじめが認知されたものであり、解消するまで対応し、見届けを行っている。また、重大事態は発生していない。現在は市内小・中学校が比較的落ち着いており、いじめのない学校づくりを推進していく

⑧評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	方 向 性	事業実施方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	本市において、児童生徒のいじめ・不登校対策を重点事項としてとらえ、相談活動をはじめとする様々な支援により、不登校やいじめ問題の解消を推進するため。
				次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	多くの小学校では、相談員を2校1人配置体制で実施しているが、小学校における相談活動を一層充実させていく必要があることから、相談員を増員していくため。
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ、不登校は減少に向け、未然防止や早期発見・早期解決を図るために、児童生徒、保護者、学校・教職員への支援を継続している。</li> <li>・個々の児童生徒に応じた効果的な教育相談活動の実施に向け、指導主事や生徒指導・いじめ問題対策員による学校巡回、教育相談室訪問(年3回)等を実施し、学校の教育相談体制の充実を図っている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ、不登校は、平成27年度は前年度と比較して減少が見られた。今後も減少に向け、未然防止や早期発見・早期解決を図り、児童生徒、保護者、学校・教職員を支援を進めていく。</li> <li>・今後も研修会等を通して、学校の教育相談体制の充実と相談員の資質の向上を図っていく。</li> </ul>					
評価日	H28.8.19	評価者職氏名	学校教育課長 堀 俊彦				

⑨環境影響	有益な環境影響	有害な環境影響を及ぼす原因活動	紙・自動車の使用	規制を受ける環境法令等	無
				緊急事態	無